

つながりの中でくらす
望まれた人として生きる
自分らしく生きていく



No.

84

2025 年 5 月発行

〒535-0021 大阪市旭区清水 2-16-22 TEL06-6953-2665 fax06-6953-2655 E-mail houpu@r.river.sannet.ne.jp

先日、ある法人の会議に出席するために、大阪メトロの「夢洲」行きに乗りました。途中で急に外国人の乗客が増え、「どこの国の地下鉄？」という風景になり、その後、乗客がどんどん増えて朝のラッシュ並みの混み具合になりました。そこで初めて、「万博かー!？」と気づいた次第です。弁天町駅で、「おりまーす」と叫びながら人をかき分け、ようやくホームに降りました。車いすで乗車できる状態ではありません。万博は、きっと、最新の技術がたくさん詰まった興味深いパビリオンが並んでいるのでしょう。マスコミは大阪の盛り上がり報道していますが、私の周りで万博に行った人といえば、遠足で行った小学生たちだけで、「行きたい」と言っている人さえいません。この現象は多分、「政治」にかかわることなのだろうと思います。万博の開催は、反対意見がある中、強行的に進められた感を持つ人たちがいるからだと思います。

政治的な運動には関わってこなかった私ですが、万博に反対している方々の気持ちはわかる気がします。この17年ほどの間、大阪では効率性や生産性重視の政策が強行にすすめられてきたと感じます。「人権」と名のつく建物が次々と壊され、私たちが活動していた地域密着の不登校支援のネットワークが機能しなくなりました。また、ある知事が「私学助成削減」を行ったばかりに、その年の公立高校の受験生が大幅に増え、どの高校も定員を超えました。そのため、知的障害のある私の娘は夜間定時制高校に行くしかなかったという個人的な恨みもあります。今や、「大阪では教師になりたくない」という学生たちがいると聞きます。

愚痴が長くなりました。大阪の教育への大きな危機感がありますが、それでも大阪は、長い障害者運動によって、他府県に比べて「ともに育つ教育」が行われていると思います。知的障害がある生徒も高校に進学し、卒業しています。長らく定員内不合格は出ていませんので、定員割れれば合格です。府下11校に知的障害生徒自立支援コースが設置され、知的障害がある生徒も高校生活を送っているため、単位認定についても配慮がされています(はずです)。また、大阪では、障害を理由に小学校入学を断られることはありません(はずです)。特別支援学校への就学を考えている場合も、まずは校区の小学校へ相談することになっています。各小学校で教育相談も行われていますが、それでも保護者や子どもたちの不安は消えません。

保護者の不安を解消しようと、旭区地域自立支援協議会こども部会では、毎年6月7月に「就学進学なんでも相談会」を開催しています(P6 参照)。10年間続いています。保護者には好評です。どの子も、希望に胸を膨らませる春であってほしいと思います。

(地域生活サポートネットほうぷ 向井裕子)

放課後等デイサービス「楽童ほうぷ」報告

1月は初詣に始まり、書初め、玉葱染、避難訓練や「ほうぷ商店」と、新年早々、盛りだくさんの活動でした。2月は、節分の豆まきや巻き寿司作り、寄席体験、チョコレート作りなどで楽しみました。3月には、地域の「清水フェスティバル」で「ほうぷ商店」の出張販売、進級パーティ、遠足とイベントがたくさんでした。3月末には、大学生アルバイトたちが卒業していきました。それぞれ、社会人として巣立っていきました。代わって、新しい大学生アルバイトたちが来てくれています。4月は、避難訓練、外部講師を招いての身体ほぐし等を行いました。

毎週土曜日と春休みには毎日、クッキングを行いました。ほうぷで採れた小松菜やほうれん草を使ったり、頂き物の根菜を使ったり、野菜もしっかり使いました。おやつ作り、簡単工作や感覚統合遊具などを使った身体遊びは日常的に行いました。1月から4月まで、いろいろな取り組みを行ってきました。

また、学校に行くのが辛い子どもや通信制高校の生徒に対して個別活動も行いました。学習支援や身体を使った遊び、創作活動などを通して、コミュニケーションの力を育みながら、信頼関係を築いています。子どもにとって安心できる居場所でありたいと思います。

ほうぷの日常

玄関入ってすぐの台所では、クッキングだけでなく、おしゃべりしたり遊んだり、おやつを作ったり。下校してくる友だちを「お帰り」と迎える場です。



クッキングのメニューはいろいろ！
南瓜のポタージュもチャーシューも
作りました。



本がいっぱい

みんな大好き、読み聞かせ
本を選ぶ役割をする子どもも



高い隠れ家



簡単工作



玄関先は格好のあそびば。
飛び出し止めの塀は黒板に(?)
どろんこ遊びに、お掃除ごっこ



身体ほぐしや運動遊び。感覚統合
遊具以外にも、いろんな工夫をし
て身体を使って遊んでいます

～グループワーク～

毎月のグループワークは、かるた、絵本やカードなどを用いて、子どもたちが考えたり、意見を言ったり、人の意見を聞いたりしながら、楽しく参加できる工夫をしています。1月はトーキングカードを用いて、自己紹介をして質問に答えるゲームをしました。自分に気づき、お互いを知る機会になればと考えました。2月は「ここからかるた」を使って、かるたを取る、裏面の質問を読んで考える、順番に意見を言うというワークをしました。ころ・からだ・性についての意見や気持ちを分かち合い、お互いのことを知ることで、自分や他者を大切にすることが少しずつ育まれていけばと思います。3月は、「大ピンチ図鑑」を読んだ後で、グループに分かれてカードを使い、助け合うことを体験しました。誰かが助けてくれる、助けてって言うといいよとわかってもらえればと思います。開始前は、何をするのか分からなくて躊躇する子どももいますが、おしゃべりしながら楽しく参加していきます。



～創作活動～

1月には、クッキングで使った玉葱の皮を集めて、玉葱染をしました。ゴムで絞りを入れて模様を作りました。美しい黄色に染まりました。2月はバレンタイン直後に「チョコをもらえなかったアナタのためのチョコレート作り」をしました。節分クッキングは巻き寿司でした。3月はピザ作り、4月はパン作りに挑戦しました。簡単調理で、ふわふわの美味しいパンができました。昨年末の創作活動は工作的なものが多かったのですが、1月から4月の創作活動は、「食」にまつわるものを多くしました。代わりに平日活動に簡単工作をたくさん取り入れました。



～避難訓練～

1月は地震・火災想定での避難訓練を行いました。阪神淡路大震災の話をした後、近くの小学校まで、避難経路を確認しながら歩き、その後、気づいたことを出しあいました。カセットのガスコンロを使って、非常時のクッキングもしました。4月は地震想定での避難訓練を行いました。ヘルメットを着ける練習をして、1月同様、避難経路を確認して歩きました。積み重ねていくことが大事だと思います。



～ワタシ×ミライワークショップ～

3月に中学校に進学する男子のワタシ×ミライ・ワークショップを開催しました。今回の参加者は、いつもと少し違っていました。ご本人とご両親、小学校と中学校の先生方の参加はいつも通りで、同級生の参加もありましたが、ピアカウンセラーの参加がなく、代わりに(?)、同級生のご両親が参加されました。いつもと一味違うワークショップになりました。今回のワークショップの内容が、中学校生活の中で役立てば嬉しいです。

ほうぶ商店

1月25日(土) 13:30~15:30 参加者: 子ども10名 ボランティア2名
恒例のほうぶ商店は、今回は、チラシ配布が十分にできなかったのですが、ガラガラを覚悟したのですが、途切れなく程よい来客で、子どもたちのお店当番の仕事がよい感じでした。いつものように駄菓子を販売したり、近くの「あゆみ工房」さんのクッキーを販売したりしました。ご近所の方にお手伝いいただき、コマ回しのランキング付もしました。また、5年生の女子が、個別支援計画に基づいて、自分の作品コーナーを企画して販売する体験に挑戦しました。完売して、満面の笑みでピースしていました。自信につながっていけばよいと思います。



寄席体験

2月8日(土) 14:30~15:30 参加者: 子ども10名 ボランティア2名
昨年、国産綿花を使った工作の指導に来ていただいた「こっとんくらぶ」の皆さんをお招きして、落語の小話をする体験をしたり、落語を聞いたりする体験をしました。太鼓や三味線、お囃子もあり、本格的な体験ができました。小道具の扱い方も教えていただき、お土産に手ぬぐいと扇子をいただきました。小話でふざけていた子どもたちも落語が始まるとしっかり聞いていました。



清水フェスティバル

3月2日(日) 10:00~14:00 参加者: 子ども12名 ボランティア2名
昨年は法人のスタッフだけで参加した清水フェスティバルでしたが、今年は6年生が多かったので、小学校生活の思い出にと、子どもたちも参加しました。子どもたちが作った雑貨の販売と、国産綿花を使った工作体験コーナーを出店しました。体験コーナーは大繁盛でした。ほうぶ商店と同じように、支援計画に基づいて、ほうぶを卒業していく高校生が、自分でデザインして作った雑貨を特設コーナーを作って販売しました。ポップや並べ方も自分で工夫していました。春からの大学生活に向けて、良い体験になったと思います。



進級パーティ

3月22日(土) 13:30~15:00 参加者: 子ども10名 ボランティア4名
子どもたちが楽しく参加できるようにと考えて、第一部は公園に行ってみんなでゲームをし

ました。第二部は、ほうぷに戻って、会場準備をして、まずは S さんの素敵なピアノ演奏をうっとり聴きました。その後、スライドを写して1年間を振り返りながら、楽しいバイキングのおやつタイムにしました。



お花見遠足

3月29日(土) 10:00~15:30 参加者：子ども8名 ボランティア3名
市バスに乗って城北公園にお花見に行きました。満開の桜でした。お弁当を食べて、しっかりと身体を使って遊びました。バスを使ったとはいえ、バス停までかなりの距離を歩いたのですが、子どもたちのエネルギーはあり余っているようで、広い公園でおいごっこまで始めていました。最後に集合写真を撮りました。好天に恵まれて、楽しいお花見遠足となりました。



おやこひろば ほうぷ

今年度も昨年同様、音楽と創作をします。自己紹介や発表的なものはなし、楽しんでもらうために無理強い参加も無しゆる〜い内容です。いろんな楽器も触って遊ぶことができます。好きな曲をリクエストしたり、親子やご夫婦で工作を楽しんだりして、ご家族でのんびりとしたひと時を楽しんでいただければと思っています。就学前のお子さんのご家族なら、どなたでもご参加いただけます。ゆったりのにんびり楽しい時間を過ごしましょう。

今年度の「おやこひろばほうぷ」は以下の日程で開催します。9月スタートです。待っていらした方々、ごめんなさい。しばらくお待ちください。

日時：9月7日(日) 12月7日(日) 3月8日(日) いずれも 10:30~12:00
会場：地域生活サポートネットほうぷ 事務所
(大阪市旭区清水 2-16-22)

＜旭区地域自立支援協議会 こども部会からのお知らせ＞

「^{しょう}障がいのある」「^{はったつき}発達の気になる」^{かそく}こどもさんとご家族のための

「就学・進学なんでも相談会」を開催します

小学校や中学校への入学や就学中、中学校卒業後の進路のことで、困ったり悩んだりしていませんか？

旭区地域自立支援協議会こども部会と相談支援部会のメンバーが、お待ちしております。
どうぞ、お気軽にご相談ください！

《 日 時 と 場 所 10:00～12:00 》 受付は11:30まで

令和7年

※暴風警報等が発令された場合は中止となります。

6月 6日（金）	古市小学校 控室	6月25日（水）	清水小学校 会議室
6月 9日（月）	高殿小学校 多目的室	7月 8日（火）	大宮西小学校 多目的室
6月10日（火）	城北小学校 ふれあいルーム	7月10日（木）	大宮小学校 生涯学習ルーム
6月12日（木）	高殿南小学校 多目的室	7月11日（金）	新森小路小学校 北会議室
6月16日（月）	太子橋小学校 ミーティングルーム	7月19日（土）	旭区役所
6月17日（火）	生江小学校 カウンセリングルーム	7月19日（土）は、大阪府立思斉支援学校、 光陽支援学校の先生も相談をお受けします	

※ 事前予約は必要ありません。ご都合の良い日程にお越しください。

※ 予約制ではないため、お待ちいただくこともあります。時間に余裕をもってお越しください。

※ 各小学校に入る際にはインターホンを押して「就学・進学なんでも相談会」とお伝えください。

※旭区役所での実施日は閉庁していますので、東側通用口にお越しください。

※ 各小学校へのお問い合わせはご遠慮ください。

お問い合わせ 旭区役所 福祉課（地域福祉）06-6957-9857

主催：旭区地域自立支援協議会 こども部会

●法人内の活動報告●

- 1月17日(金) ほうぶよるカフェ
- 1月23日(木) 虐待防止委員会
- 2月21日(金) ほうぶよるカフェ
- 3月13日(木) 職員研修「リビングライブラリー 里親のもとで育て」
- 3月21日(金) ほうぶよるカフェ
- 4月1～4日 高校生ボランティアの受け入れ
- 4月18日(金) ほうぶよるカフェ
- 4月24日(木) 職員&保護者研修虐待「障害児の高校進学について」
- 4月25日(金) 虐待防止委員会

●地域活動報告●

- 1月14日(火) ブックスタート(ほうぶ) 3組参加
- 1月15日(水) 旭区地域自立支援協議会本会(旭区役所)
清水地域活動協議会(清水小学校)
- 1月22日(水) 旭区子ども食堂ネットワーク会議(旭区役所)
- 1月24日(金) 清水地域清水地域子育てネットワーク会議(清水小学校)
- 2月4日(火) 旭区地域自立支援協議会 こども部会(旭区役所)
- 2月12日(水) 清水地域活動協議会(清水小学校)
- 2月19日(水) 旭区地域自立支援協議会 相談支援部会(旭区役所)
- 3月2日(日) 清水フェスティバルに参加(清水小学校)
- 3月7日(金) 旭区子育て支援「あさひの輪」定例会(旭区社会福祉協議会)
- 3月9日(日) 子ども情報研究センター研修講師「障害児の福祉サービスについて」
- 3月11日(火) ブックスタート(ほうぶ) 3組参加
- 3月15日(日) 子ども情報研究センター理事会
- 3月19日(水) 旭区地域自立支援協議会本会(旭区役所)
- 3月21日(金) 旭区地域自立支援協議会こども部会研修会「愛着障害について」(旭区役所)
- 3月25日(火) 旭区子ども食堂ネットワーク会議(旭区役所)
- 4月16日(水) 旭区地域自立支援協議会 事業所連絡会(児童)(旭区役所)
旭区地域自立支援協議会 相談支援部会(旭区役所)
- 4月23日(水) キッズネット事前打ち合わせ(大阪旭こども病院)



3月の朝、当法人の相談支援事業所が担当しているお子さんの訃報が届いた。まだ、3歳だった。心臓の疾患を抱えながら、元気に育ち、本当に「生きる力」を感じさせる子どもだった。心臓の手術も終えて、酸素もはずれ、このまま、元気に育っていくと疑うことなく思っていた。人の命のたくましさや儚さを思った。虚しさがしばらく心にはりついて取れなかった。ご冥福をお祈りします(む)

